事件後のフォローアップセッション (PIFS)

活動の目的: 事故後にドライバーがリスクと事故時にとった行動を理解できるように対話を確立します。さらに、このインシデントの再発を防ぐために彼が実行できる別のアクションがあるかどうかを判断します。

として？この会話には、従業員のトレーニング セッションと同じように取り組んでください。あなたは運転指導員になることを期待されていないので、心配する必要はありません。 CEPA がご案内します。この機会を利用して、安全運転の概念を強化し、運転行動と責任を結びつけ、基本的な安全原則を伝え、可能であれば車両の簡単な検査を実施してください。

ドライバーに尋ねる質問はイベントの種類に合わせて行うことをお勧めしますが、尋ねるべき一般的な質問がいくつかあります。

あなたが事故現場にいなかった場合、何が起こったのかを知る最も直接的な方法は、質問することです。質問の種類と例は次のとおりです。

a) 未解決の質問: 何を?として？いつ？なぜ？
- 事故前はどのような操作を行っていましたか?
- 事件当日の天気はどうでしたか？

b) 終了した質問: 「はい」または「いいえ」で答えることができる質問。
- 休んでいましたか？眠かったですか？携帯電話で話していましたか？
- 事故は午前8時に起こりましたね?

c) 認知的質問: 旅行の「地図」。
- 旅行や出張が始まった瞬間から始めて、あなたの 1 日を説明してください。」

ドライバーへの質問		上司/マネージャーへの質問	
1	仕事/旅行の一日の始まりを説明してください:	1	このPIFSを引き起こした衝突に対するドライバーの態度は何でしょうか?
2	その日の身体の状態を説明してください。	2	ドライバーは予防について話し合うことに前向きですか?
3	その日のあなたの感情的な状態を説明してください:	3	ドライバーは、このPIFSを引き起こした衝突と同様の衝突に巻き込まれたことがありますか?
4	車両の動作条件を説明します。	4	「精神的な散漫/精神的錯乱」が要因であった可能性はありますか?
5	この通り/道路/高速道路をどのくらいの頻度で運転しますか:	5	衝突は回避できたのだろうか？として？

6	この通り/道路/高速道路の安全状況を説明してください:	6	これを避けるためにドライバーは他に何をすることができたでしょうか?
7	事故現場の天候、照明、視界の状況を説明してください。	7	ドライバーはどのような行動を変えることに取り組んでいますか?
8	事故の可能性に気づいた瞬間を説明してください:	8	再発を防ぐためのドライバーへの推奨事項はありますか?
9	インシデントを詳しく説明してください (何が、どのように、どこで、いつ起こったのか):		
10	このインシデントがどのようにして回避できたのかを説明してください。		
11	SAFE FLEET は、仕事で運転する際の安全を確保するために何ができますか?		
12	追加のコメントおよび/または関連性:		